

教育目標 やさしく かしこく たくましく



畑小
だより

佐渡市立畑野小学校
学校だより
令和元年10月24日 発行

校長 古塩 正明
TEL0259-66-2019

社会同和教育巡回研修会を終えて

校長 古塩 正明

先日、新潟県教育委員会主催の「社会同和教育市町村巡回研修会」が本校を会場に執り行われました。大勢の参加者をお招きして全学年の道徳科の授業を公開し、参観していただきました。それぞれの学年が人権の大切さや差別や偏見の問題を各学年に応じた教材を使って学びました。

本校が2年前から取り組んでいる道徳科の実践を通しての「心の教育」の一端を、100人を超える教育関係者、保護者の方々から観ていただきました。研修会の後半には「金山町の歌芸を通して同和問題と人権問題を考える」というテーマで佐渡国・草の会代表 飯山弘風 様よりご講演を賜ることもできました。佐渡郷土史家として、金山町に埋もれている「春駒」という芸を継承し、「やわらぎ節」を復活させたお話をたくさんの資料とマジック等を交えて分かりやすくお話していただきました。また、実際に春駒の演技もご披露いただき、あっという間の1時間でした。とても興味深く、考えさせられるお話でした。

この研修会の運営に向けていろいろとご準備いただきました関係各位の皆様方に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

人権教育・同和教育は新潟県でも以前からずっと重点を置いている分野です。まさに心の教育の基本であり、生き方教育、生涯教育の根本をなすものと私は認識しております。その研究会が本校で行われたことは大変光栄なことであり、重要な研修だと考えます。

自分でも気づかない差別や偏見、同和問題の歴史、現在の人権問題などについて知り、学び続けることこそが、人としてのよりよい生き方、よりよい社会や未来をつくるための根幹になると考えます。

本校の人権教育・同和教育の重点は「あらゆる立場にある人の気持ちを考え、思いやりのある言動がとれる子の育成」です。これからもこの目標を達成すべく、職員一丸となって心の教育を推進していきます。そして畑っ子の人権意識、自己肯定感、相手意識をさらに高めていきます。本研修会にご参会いただきました全ての皆様方に深く感謝申し上げます。今後ともご指導ご支援よろしく願い申し上げます。



春駒の演技